

# 「平成 28 年度下期 水原商工会 景況調査」 調査結果概要

## [アンケート調査の概要]

### 1. 調査対象

水原商工会の会員及び管内企業 813 社  
(会員企業 526 社、管内企業 287 社)

### 2. 調査方法

郵送法／無記名式

### 3. 調査時期

平成 28 年 12 月上旬～12 月下旬

### 4. 回収状況

回答数：261 社  
有効回答数：261 社  
有効回答率：32.1%

## [1. 回答企業の属性]

### ○事業形態

回答企業の事業形態は、「個人企業」が 60.9% を占め、次いで「株式会社」が 23.0%、「有限会社」が 14.9% などとなっている。

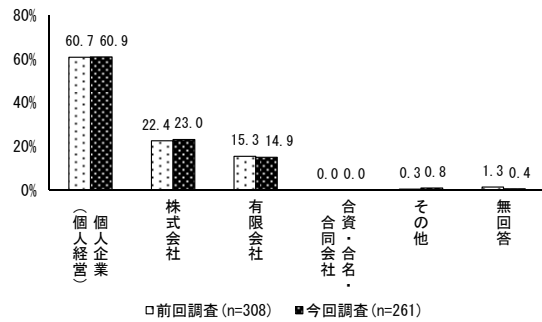
### ○従業員数

従業員数（正社員）は、「1 人～5 人」（48.3%）が約 5 割を占め、次いで「0 人」（30.7%）となり、これらを合わせて『5 人以下』が約 8 割を占めている。

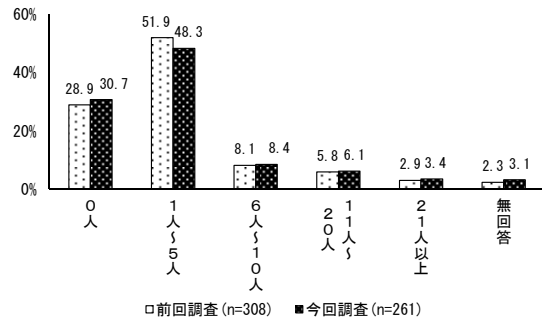
### ○業種

業種は、「小売業」が 33.0% と最も高く、以下「建設業」が 19.9% などとなっている。

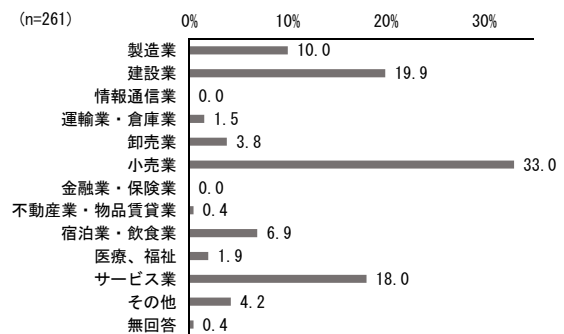
### ◆事業形態



### ◆従業員数



### ◆業種



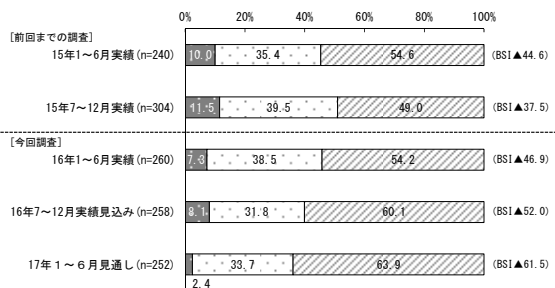
## [2. 景況調査の結果]

### ①業況判断

16 年 7～12 月（以下、今期）の業況判断 B S I（「良い」－「悪い」）は、16 年 1～6 月（以下、前期）と比べて悪化している。17 年 1～6 月（以下、来期）の見通しは、さらに悪化すると予想されている。

※ B S I とは、アンケートの回答結果を指数化したものである。業況などが「良い」か「悪い」という質問に対して「プラス（良い、増加、上昇等）」「普通（不変）」「マイナス（悪い、減少、低下等）」の 3 つの選択肢を用意して、「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた数値をいう。

### ◆業況判断



※無回答を除く。四捨五入の関係で、内訳の合計が100%とならない場合がある

## ②生産・売上

今期の生産・売上BSI（「増加」－「減少」）は、前期とほぼ同水準で推移している。一方、来期は低下する見通しとなっている。

## ③採算

今期の採算BSI（「好転」－「悪化」）も、前期とほぼ同水準で推移している一方で、来期は悪化する見通しとなっている。

## ④設備投資

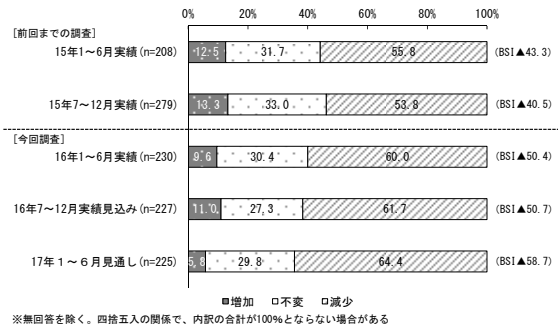
阿賀野市内における設備投資について、今期に「実施」と回答した企業の割合は13.9%となり、前年同期（15年7～12月）の11.8%と比べて2.1ポイント上昇している。来期に「実施」と回答した割合は5.9%と、前年同期（16年1～6月）の9.6%と比べて3.7ポイント低下し、慎重な見通しとなっている。

今期の設備投資の目的（複数回答）では、「店舗・工場等の新設、増改築」の割合が最も高く、来期の設備投資の目的では「既存機械・設備の入れ替え」の割合が最も高くなっている。

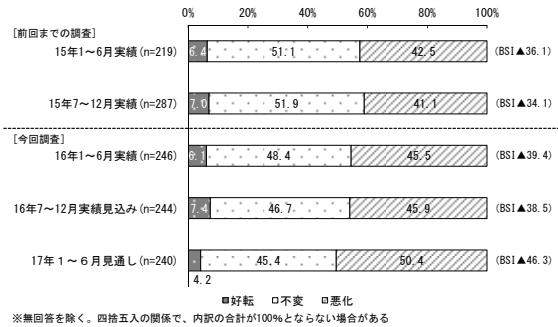
## ⑤経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）をみると、「客数の減少」が56.1%で最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」「先行き見通し難」「仕入価格の上昇」「同業他社との競争激化」「客単価の低下」などとなっている。

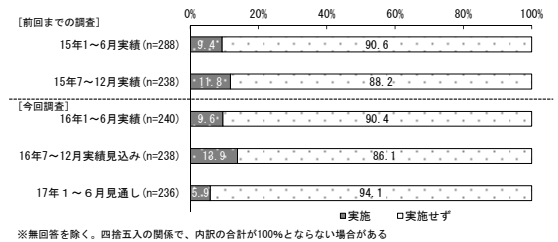
## ◆生産・売上



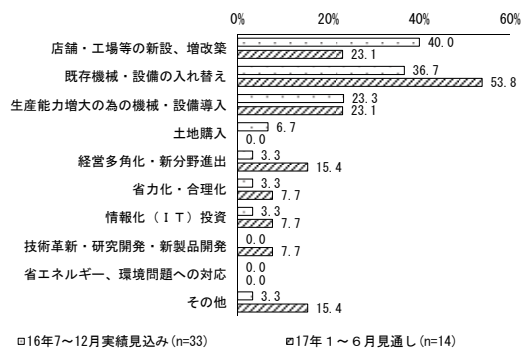
## ◆採算



## ◆設備投資の実施

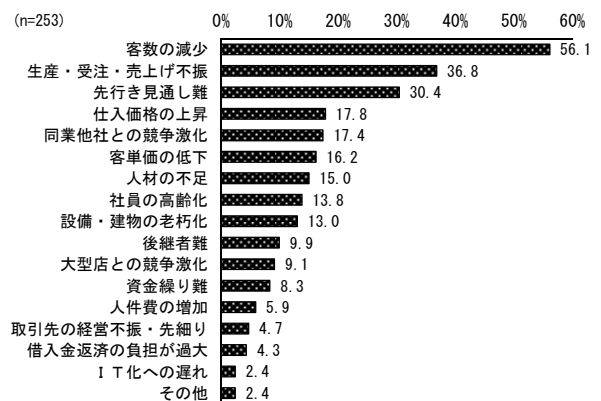


## ◆設備投資の目的（複数回答）



※無回答を除く

## ◆経営上の問題点（複数回答）



※無回答を除く